

(様式1)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和5年5月19日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3490100272		
法人名	社会福祉法人 可部大文字会		
事業所名	グループホームHanamizuki		
所在地	〒731-0223 広島市安佐北区可部南3丁目10-22 (電話) 082-815-2199		
自己評価作成日	令和5年4月18日	評価結果市町受理日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	https://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/34/index.php?action_kouhyou_detail_022_kani=true&JigyosyoCd=3490100272-00&ServiceCd=320&Type=search
-------------	---

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	一般社団法人広島県シルバーサービス振興会
所在地	広島市南区皆実町一丁目6-29
訪問調査日	令和5年5月11日

【事業所が特に力を入れている点、アピールしたい点（事業所記入）】

お一人おひとりが、自分らしく生活できるよう寄り添って支援し、「居場所」となる環境づくりに取り組んでいる。
--

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

コロナ禍で地域との関係を継続することが難しい中で、対面での運営推進会議の開催や地域の方の主催による上映会の実施など工夫をしながら地域との関係が途切れないよう取り組んでいる。法人内の連携によりマイクロバスにて利用者全員が花見と紅葉狩りに出かけており、感染対策をしながら外出にも取り組んでいる。浴室は4階にあり、浴槽内から展望でき、ゆったりと入浴することができる。年度末には、食事の事やスタッフの事、生活の満足度について家族アンケートを実施し、次年度の取り組みに活かしている。コロナが収束すれば、地域の運動会や夏まつり、グランドゴルフ大会や大学の吹奏楽部などの来訪を受けながら以前にも増して地域との交流を図る意向である。
--

自己評価	外部評価	項目(1ユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	法人理念である、「山まゆ糸」のような光輝く最高の人生を送られることを、心から願って。に沿った考え方で管理者、職員共に利用者様と向き合っている。	法人理念と施設方針を各フロアに掲げ、朝夕の申し送り時と月に一度の職員会議にて唱和している。年度初めの現任研修において職員間で共有し具体的なケアや取り組みに反映している。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	運営推進会議等を通じて地域行事には誘っていただいていたが、コロナウイルス感染状況の影響を受け、行事がすべて中止になってしまい、交流機会は前年度よりも減少している。	町内会に入り、コロナ禍以前は地域の運動会や夏まつり、グランドゴルフ大会などに参加したり、ボランティアの来訪や文教大学の吹奏楽部の来所などがあった。地域の方が来所し上映会をすることは継続している。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	コロナ禍により制限があるが、運営推進会議等を通じ、地域の方から質問や相談を受け、助言している。	/	/
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	コロナ禍により制限があるが、運営推進会議等を通じ、地域の方から質問や相談を受け、助言している。	コロナ禍でも地区福祉委員や体育協会の参加を得ながら、工夫して年に6回の内4回を対面で会議を開催している。個別のケアの仕方について地域包括支援センターから助言を受けて対応した事例がある。	
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取組んでいる。	市町から発信された情報は常に最新の情報を入手するよう、努めている。	電話や更新時や認定情報を入手する為に担当課に訪問した際などを通じて相談している。地域包括支援センターとは、公民館での認知症勉強会への参加や認知症カフェのお手伝いをしている。	

自己評価	外部評価	項目(1ユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	法人での研修と事業所単位での身体拘束防止の勉強会を開催し、施設全体で身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	身体拘束防止・高齢者虐待・事故防止委員会を2か月に1回開催している。法人の年度初めの現任研修と事業所での研修を行っている。夜間は防犯の為、施錠している。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	法人での研修と事業所単位での身体拘束防止・虐待防止の勉強会を開催し、施設全体で身体拘束をしないケアに取り組んでいる。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	一年に一回、本部において開催される勉強会に参加し、知識を得ている。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	文書を用いて発信したり、必要に応じて利用者およびその家族から個別に相談を受けている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	利用者及びその家族からアンケート等を取り、意見を頂戴している。また、必要に応じて、個別に相談を受けている。	毎月、担当職員から利用者の様子をお手紙で知らせるとともに意見をいただけるよう取り組んでいる。年に1度、食事の事やスタッフの事、生活の満足度についてアンケートを実施している。家族の意見から、家族と交流する機会を増やす内容のケアプランとした事例がある。	

自己評価	外部評価	項目(1ユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	各ユニット会議やアンケート等を取ったり、必要に応じて個別面談を行い、職員の考えを把握する様に努めている。	月に1回開催する職員会議の前に、議題や提案についてのアンケートを行い、職員全員の意見を集約するようにしている。ケアに関わることは申し送り時や随時検討している。希望休や勤務地についても希望に添えるように努めている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	アンケートや個別面談等を行い、職員の考えや気持ちを把握し、職員が向上心を持てるよう、努めている。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	アンケートや個別面談等を行い、職員のスキルを把握し、法人内外の研修参加を促したり、法人内の委員会に参加させることで、職員一人ひとりのスキルアップに努めている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている。	研究会や勉強会への参加を促し、同業者との交流機会の確保に努めているが、コロナ禍により、直接的な交流ではなく、リモート研究会での交流が主である。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	入居直前の事前面談の際、希望や抱えている問題点、不安等を紐解くよう努め、少しでも安心して利用していただけるよう、努めている。		

自己評価	外部評価	項目(1ユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	入居時の事前面談や契約時には、家族等の困り事や入居してからの不安について相談に応じ、信頼関係の構築に努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	利用者及びその家族が求めていることを把握し、必要な援助を常に提案するよう、努めている。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	職員は利用者一人ひとりと同じ目線に立って関わるよう、努めている。また、常に利用者に対して敬う姿勢を持って関わっている。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	職員は利用者の家族が何でも相談できる対応ができるよう、努めている。また、利用者とその家族が良好な関係を維持できるような環境づくりにも取り組んでいる。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	利用者家族と頻りに交流し、馴染みの人や場所との関係が疎遠にならないよう、努めているが、コロナ禍により、面会制限や外出制限のため、目標通りにはなっていない。	面会禁止の時期もあったが、可能な時期は面会を予約制にするなど工夫しながら馴染みの関係の継続を支援している。電話の取り次ぎや年賀状の支援を行っている。地域の可部カルタを通じて馴染みの場所を思い出してもらったりしている。	

自己評価	外部評価	項目(1ユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	利用者間の関係性は常に把握し、良好な関係が作れるよう、努めている。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	相手側の意向を尊重しながら行っている。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	定期的にケア会議を開催し、問題点や改善点を導き出すよう、努めている。	日常の会話やしぐさや表情を通じて、希望や意向を確認している。意向について分かりにくい場合は家族に聞いている。聞いた内容は、介護日誌に書き留めるなどしてスタッフ間で共有している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	家族や近親者等から情報を聞き出し、経過の把握に努め、サービス提供に役立っている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	介護経過や申し送り、ケア会議等を利用して、状態の把握に努めている。		

自己評価	外部評価	項目(1ユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>ケア会議や家族を交えたサービス担当者会議等を利用し、意見やアイデアを出し合い、介護計画に反映させている。コロナ禍においては、家族からは文書や電話にて意向を聞いている。</p>	<p>利用者の担当職員を決めており、毎月担当職員がモニタリングを行い必要に応じてケアプランの見直しをしている。新規利用者の場合は2~3か月、状態の変化がない方は6か月ごとにサービス担当者会議を開催している。医師や家族の意見を聞き取った上でケアプランに反映させている。</p>	
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>個別記録をもとに、ケア会議やサービス担当者会議にて分かりやすく紐解き、実践に活かしている。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれ変わるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>状況は状態が変わる際、できることで対応している。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>本人の望む暮らしや望むことを把握し、施設だけでなく、地域の協力が得られるよう、努めている。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>施設のかかりつけ医とは些細なことでも相談し、利用者の健康状態の維持ができるよう、信頼関係の構築に努めている。</p>	<p>利用開始時に協力医療機関の訪問診療等の説明をし同意を得ている。月に2回の訪問診療を各ユニット交互に受けている。歯科も必要に応じて訪問診療を受ける体制がある。専門科へは、家族の支援にて受診を基本としているが、必要な場合は職員が支援する場合もある。</p>	

自己評価	外部評価	項目(1ユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	介護職員と看護職員は常に協力し合い、介護上知り得た情報、看護上知り得た情報を共有し、利用者の健康状態の維持に努めている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	施設からは介護情報を提供、医療機関からは退院時の看護サマリーの提供を受け、相互の情報交換を行い、医療機関との協力関係の構築に努めている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	本人・家族と施設、医療機関とで方針と取り組みを確認し、安心した終末期が迎えられるよう、努めている。	重度化した場合における対応に関わる指針についての同意書や重度化に伴う医療対応に関わる確認書にて、説明・同意を得ている。看取りの実績はなく、法人内の施設や医療機関へ入院、他の高齢施設へ入所している。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	勉強会や研修等に参加し、知識や技術の習得に努めている。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	年に二回、避難訓練を行い、有事に備えている。また、運営推進会議を通じ、地域の住民の方にも参加を依頼している。	災害訓練を年間に夜間想定と昼間の2回実施し、その内1回は消防署立ち会いで運営推進会議の後に開催している。水消火器を使った消火訓練や避難訓練を行っている。水や食料品の備蓄は、併設事業所と合わせて3日分備蓄している。	

自己評価	外部評価	項目(1ユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	接遇の勉強会を開催し、利用者に対する敬う気持ちや意識を持つよう、努めている。	利用者への言葉遣いについて管理者の指導の他、職員間で相互の指摘を随時行っている。排泄介助や入浴介助時は羞恥心に配慮するとともに、扉やカーテンで視界を遮るようにしている。個人情報保護の同意は契約時に同意を得ている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	介助する際には利用者に対して必ず目的を説明し、理解や自己決定できるようなアプローチを行っている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	利用者の行いたい時間をユニット間で把握し、できるだけ利用者の希望する形を実現できるよう、努めている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	可能な限り、自身で身だしなみができるよう、最低限の介助にて支援している。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	可能な限り、配膳の準備や下膳を利用者と一緒に行っている。	下膳や食器洗い、テーブル拭きなどを出来る利用者が行っている。管理栄養士が献立を作成し、栄養管理を行っている。行事食で季節を感じるなど食べることが楽しみとなるような企画をしている。花見など外出を伴う会食も実施している。	

自己評価	外部評価	項目(1ユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。</p>	<p>表を用いて、利用者が必要な量を確保できるよう、把握に努め、実践している。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	<p>毎食後には口腔ケアを行い、必要に応じて介助するなどして、口腔内の清潔保持に努めている。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>排泄表を用いて、一人ひとりの排泄パターンを把握し、可能な限り、自己の力で排泄できるような支援を行っている。</p>	<p>夜間ポータブルトイレ利用の方が1名いるが、排泄はトイレ誘導を中心に行っている。トイレは3か所にあり、車いすの方も利用ができて、手すり等の整備もある。入院時にオムツ使用だった方が、リハビリパンツやパット使用に改善した事例もある。</p>	
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	<p>医療機関とも相談し、可能な限り自身の力で排便できるような支援を行っている。</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	<p>入浴を楽しんでもらえるよう、希望を聞いたり、着替えの準備を職員と一緒にしている。</p>	<p>週2回の午後入浴を中心に行っている。浴槽から外の風景が展望でき、ゆったりと入れるよう整備している。入浴剤の活用や個別に好きなシャンプー、リンスを使用できるなど、好みに合わせた入浴の支援を行っている。</p>	

自己評価	外部評価	項目(1ユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。</p>	<p>体調に応じ、日中でも午睡する時間を設けたり、夜間も本人の希望に合わせて遅い時間に就寝してもいい環境を作っている。</p>		
47		<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。</p>	<p>変化があった際はすぐに看護師を通じて医療機関に報告し、対応に努めている。</p>		
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。</p>	<p>本人の希望や家族や近親者からの情報提供を受け、楽しみのある生活を送っていただけるよう、支援している。場合によっては家族や近親者からの協力を得ている。</p>		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	<p>外の空気を感じられるような支援は普段から行っているが、遠出に関しては、計画を立て、年に数回、行っているが、遠出に関しては、コロナ禍により、制限にある中で行っている。</p>	<p>外出はコロナ禍にて、テラスや屋外のベンチ、建物周辺の散歩など限られた範囲の中で行っている。法人のマイクロバスで花見と紅葉狩りは全員で行くことが出来ている。コロナが収束すれば近隣の店舗に出かける意向である。</p>	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。</p>	<p>家族から預り金を預かり、対応している。コロナ禍において、本人からの希望を聞き、職員が代行に必要なものや希望したものを買いに行っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目(1ユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。</p>	希望があれば支援している。		
52	19	<p>○居心地の良い共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	動線に危険なものを置かないよう気をつけ、共用スペースが殺風景にならないよう、配慮している。	リビングに、季節を感じる飾り付けを行っている。テーブルは大小あり、高さが選べる。ソファがありゆったり過ごせる空間となっている。キッチンがあり、料理をあたためたり、汁やおかゆを作っている。	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p>	トラブルにならないよう、良好なコミュニティが保てるよう、配慮している。		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	本人や家族の希望や意向を反映した居室づくりを行っている。また、希望に応じて、午睡したり、居室で過ごせるよう、支援している。	居室は、6畳よりも少し広く、使い慣れた物の持ち込みとして、テレビ、タンス、椅子、仏壇などがある。居室のレイアウトは、利用者の希望と利用者の状態から安全面を配慮して考えている。	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>	トイレ等はわかりやすいように示し、洗面台も一人ひとりが使いやすいように歯ブラシセット等が手の届きやすいところに置くなど、配慮している。		

V アウトカム項目(1ユニット) ← 左記()内へユニット名を記入願います			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	<input type="radio"/>	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごしている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/> ①ほぼ毎日のように <input type="checkbox"/> ②数日に1回程度 <input type="checkbox"/> ③たまに <input type="checkbox"/> ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/> ①大いに増えている <input type="checkbox"/> ②少しずつ増えている <input type="checkbox"/> ③あまり増えていない <input type="checkbox"/> ④全くいない
66	職員は、生き生きと働けている	<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="checkbox"/> ②職員の3分の2くらいが <input type="checkbox"/> ③職員の3分の1くらいが <input type="checkbox"/> ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="checkbox"/> ②利用者の3分の2くらいが <input type="checkbox"/> ③利用者の3分の1くらいが <input type="checkbox"/> ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="checkbox"/> ②家族等の3分の2くらいが <input type="checkbox"/> ③家族等の3分の1くらいが <input type="checkbox"/> ④ほとんどできていない

自己評価	外部評価	項目(2ユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	法人理念である、「山まゆ糸」のような光輝く最高の人生を送られることを、心から願って。に沿った考え方で管理者、職員共に利用者様と向き合っている。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一人として日常的に交流している。	運営推進会議等を通じて地域行事には誘っていただいていたが、コロナウイルス感染状況の影響を受け、行事がすべて中止になってしまい、交流機会は前年度よりも減少している。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	コロナ禍により制限があるが、運営推進会議等を通じ、地域の方から質問や相談を受け、助言している。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	コロナ禍により制限があるが、運営推進会議等を通じ、地域の方から質問や相談を受け、助言している。		
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取組んでいる。	市町から発信された情報は常に最新の情報を入手するよう、努めている。		

自己評価	外部評価	項目(2ユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	一年に最低一回は身体拘束防止の勉強会を開催し、施設全体で身体拘束をしないケアに取り組んでいる。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	一年に最低一回は身体拘束防止の勉強会を開催し、施設全体で身体拘束をしないケアに取り組んでいる。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	一年に一回、本部において開催される勉強会に参加し、知識を得ている。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	文書を用いて発信したり、必要に応じて利用者およびその家族から個別に相談を受けている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	利用者及びその家族からアンケート等を取り、意見を頂戴している。また、必要に応じて、個別に相談を受けている。		

自己評価	外部評価	項目(2ユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	各ユニット会議やアンケート等を取ったり、必要に応じて個別面談を行い、職員の考えを把握する様に努めている。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	アンケートや個別面談等を行い、職員の考えや気持ちを把握し、職員が向上心を持てるよう、努めている。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	アンケートや個別面談等を行い、職員のスキルを把握し、法人内外の研修参加を促したり、法人内の委員会に参加させることで、職員一人ひとりのスキルアップに努めている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている。	研修会や勉強会への参加を促し、同業者との交流機会の確保に努めているが、コロナ禍により、直接的な交流ではなく、リモート研修会での交流が主である。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	入居直前の事前面談の際、希望や抱えている問題点、不安等を紐解くよう努め、少しでも安心して利用していただけるよう、努めている。		

自己評価	外部評価	項目(2ユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。</p>	<p>入居時の事前面談や契約時には、家族等の困り事や入居してからの不安について相談に応じ、信頼関係の構築に努めている。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。</p>	<p>利用者及びその家族が求めていることを把握し、必要な援助を常に提案するよう、務めている。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。</p>	<p>職員は利用者一人ひとりと同じ目線に立って関わるよう、努めている。また、常に利用者に対して敬う姿勢を持って関わっている。</p>		
19		<p>○本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。</p>	<p>職員は利用者の家族が何でも相談できる対応ができるよう、努めている。また、利用者とその家族が良好な関係を維持できるような環境づくりにも取り組んでいる。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。</p>	<p>利用者家族と頻繁に交流し、馴染みの人や場所との関係が疎遠にならないよう、努めているが、コロナ禍により、面会制限や外出制限のため、目標通りにはなっていない。</p>		

自己評価	外部評価	項目(2ユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	利用者間の関係性は常に把握し、良好な関係が作れるよう、努めている。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	相手側の意向を尊重しながら行っている。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	定期的にケア会議を開催し、問題点や改善点を導き出すよう、努めている。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	家族や近親者等から情報を聞き出し、経過の把握に努め、サービス提供に役立っている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	介護経過や申し送り、ケア会議等を利用して、状態の把握に努めている。		

自己評価	外部評価	項目(2ユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>ケア会議や家族を交えたサービス担当者会議等を利用し、意見やアイデアを出し合い、介護計画に反映させている。コロナ禍においては、家族からは文書や電話にて意向を聞いている。</p>		
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>個別記録をもとに、ケア会議やサービス担当者会議にて分かりやすく紐解き、実践に活かしている。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれ変わるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>状況は状態が変わる際、できることで対応している。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>本人の望む暮らしや望むことを把握し、施設だけでなく、地域の協力が得られるよう、努めている。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>施設のかかりつけ医とは些細なことでも相談し、利用者の健康状態の維持ができるよう、信頼関係の構築に努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目(2ユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	介護職員と看護職員は常に協力し合い、介護上知り得た情報、看護上知り得た情報を共有し、利用者の健康状態の維持に努めている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	施設からは介護情報を提供、医療機関からは退院時の看護サマリーの提供を受け、相互の情報交換を行い、医療機関との協力関係の構築に努めている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	本人・家族と施設、医療機関とで方針と取り組みを確認し、安心した終末期が迎えられるよう、努めている。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	勉強会や研修等に参加し、知識や技術の習得に努めている。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	年に二回、避難訓練を行い、有事に備えている。また、運営推進会議を通じ、地域の住民の方にも参加を依頼している。		

自己評価	外部評価	項目(2ユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	接遇の勉強会を開催し、利用者に対する敬う気持ちや意識を持つよう、努めている。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	介助する際には利用者に対して必ず目的を説明し、理解や自己決定できるようにアプローチを行っている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	利用者の行いたい時間をユニット間で把握し、できるだけ利用者の希望する形を実現できるよう、努めている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	可能な限り、自身で身だしなみができるよう、最低限の介助にて支援している。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	可能な限り、配膳の準備や下膳を利用者と一緒に行えるような体制や環境づくりを行っている。		

自己評価	外部評価	項目(2ユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一 日を通じて確保できるよう、一人ひと りの状態や力、習慣に応じた支援をし ている。</p>	<p>表を用いて、利用者が必要な量を確保で きるよう、把握に努め、実践している。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないよう、 毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人 の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	<p>毎食後には口腔ケアを行い、必要に応じ て介助するなどして、口腔内の清潔保持 に努めている。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、 一人ひとりの力や排泄のパターン、習 慣を活かして、トイレでの排泄や排泄 の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>排泄表を用いて、一人ひとりの排泄パ ターンを把握し、可能な限り、自己の力 で排泄できるような支援を行っている。</p>		
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲 食物の工夫や運動への働きかけ等、 個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	<p>医療機関とも相談し、可能な限り自身 の力で排便できるような支援を行って いる。</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わ せて入浴を楽しめるように、職員の都 合で曜日や時間帯を決めてしまわず に、個々に応じた入浴の支援をして いる。</p>	<p>入浴を楽しんでもらえるよう、希望を聞 いたり、着替えの準備を職員が一緒 にしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目(2ユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。	体調に応じ、日中でも午睡する時間を設けたり、夜間も本人の希望に合わせて遅い時間に就寝してもいい環境を作っている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	変化があった際はすぐに看護師を通じて医療機関に報告し、対応に努めている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。	本人の希望や家族や近親者からの情報提供を受け、楽しみのある生活を送っていただけるよう、支援している。場合によっては家族や近親者からの協力を得ている。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	外の空気を感じられるような支援は普段から行っているが、遠出に関しては、計画を立て、年に数回、行っているが、遠出に関しては、コロナ禍により、制限にある中で行っている。		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	家族から預り金を預かり、対応している。コロナ禍において、本人からの希望を聞き、職員が代行で必要なものや希望したものを買いに行っている。		

自己評価	外部評価	項目(2ユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。</p>	希望があれば支援している。		
52	19	<p>○居心地の良い共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	動線に危険なものを置かないよう気をつけ、共用スペースが殺風景にならないよう、配慮している。		
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p>	トラブルにならないよう、良好なコミュニティが保てるよう、配慮している。		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	本人や家族の希望や意向を反映した居室づくりを行っている。また、希望に応じて、午睡したり、居室で過ごせるよう、支援している。		
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>	トイレ等はわかりやすいように示し、洗面台も一人ひとりが使いやすいように歯ブラシセット等が手の届きやすいところに置くなど、配慮している。		

V アウトカム項目(2ユニット) ← 左記()内へユニット名を記入願います			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	①ほぼ全ての職員が ②職員の3分の2くらいが ③職員の3分の1くらいが ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族等が ②家族等の3分の2くらいが ③家族等の3分の1くらいが ④ほとんどできていない

(様式2)

2 目標達成計画

事業所名 グループホームHanamizuki

作成日 令和5年5月13日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点, 課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	職員の定着性がよくなく、実践したいことが長続きしない。	法人理念に沿って事業所理念を作り、事業所全体で実践していく。	職員が変わっても実践できるよう、分かりやすい支援や業務について考え、取り組んでいく。	令和5年度中
2	2	コロナ禍により、地域を含めた外部との接触が制限され、コロナ前のような付き合いが難しい。	事業所と地域の関係性を密にする。	様子を見ながらになるが、様々なところから情報を入手し、地域に溶け込んでいける取り組みを行う。	令和5年度中
3	5	誤った認識の職員がいる可能性があるため、通年を通じて指導や施設内研修を行う必要がある。	身体拘束をしないケアの実践と、虐待防止の徹底。	指導や外部研修等を含めた勉強会に参加を促し、身体拘束や虐待についての知識を得られるよう、支援していく。	令和5年度中
4	12	看護師による指導を受け、事故後の対応等を学んでいるが、すべての職員が身につけているとは言えない。	急変時や事故発生時の備えと対応。	実地による指導だけではなく、看護師に講師になってもらい、勉強会も行い、根拠に基づいた対応ができるように取り組む。	令和5年度中
5	13	様々な災害があるため、主に火災と水害の訓練をしているが、地震等の訓練も重なる必要がある。	災害対策。	ハザードマップやその他、必要な情報を入手し、訓練に取り入れていく。また、運営推進会議等を通じ、地域住民の方にも参加して頂き、地域全体での訓練実現を目指す。	令和5年度中に二回
6	14	職員の中には自分の都合や価値観を押し付けようとする者がいる。	その人らしい暮らしの支援。	職員の価値観や都合を押し付けず、可能な限りその方の意向にそった対応をしていく。	令和5年度中
7	18	介護される側がほぼ一方的に介護されている。	本人と共に過ごし支えあう関係。	介護する側もされる側も共に暮らす「仲間」という関係を作り、互いに信頼し合えるような場にする。	令和5年度中

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。